

(金谷小) 新型コロナウイルス感染症防止対策と対応について

本校での対策と対応について再度お知らせします。

保護者の皆様をお願いすることも多くあり、大変恐縮ですが、ご理解とご協力をお願いします。

1 学校ではマスクを付けて咳エチケットを守ります。

→ マスクは各家庭で用意をお願いします。使い捨てマスクが望ましいですが、用意できない場合は布マスクでも構いません。ただし、毎日洗濯をし、衛生面には十分ご留意ください。

2 登校したら玄関で手指の消毒をします。

→ アルコールで手指が荒れやすい等ある場合は、保健室へお知らせください。石けんでの手洗い・ワセリンによる保湿を行います。

3 毎朝家庭で検温と健康観察を行い、登校したらすぐに「健康観察票」を担任に提出します。

→ 学校に登校する前に家庭で検温をお願いします。37.5℃以上の発熱や風邪症状や新型コロナウイルス感染症が疑われる場合は、ご家庭で経過観察を行ってください。

4 グループ活動や集団での活動を控え、机や児童間の距離を1メートル以上とります。

5 手洗い・うがいの徹底をします。

6 教室のドアや窓は常にかけておき、休み時間ごとに空気の入換えをします。

→ 衣服で調整ができるよう、脱ぎ着しやすい上着や服装をお願いします。

7 給食前の手洗い・消毒を徹底し、グループを作らず前を向いて食べます。

8 早寝(1・2年生 21時、3～6年 22時まで)早起き・朝ごはん・朝うんちを推進します。

→ 月に1回のエチケットチェックを活用し、できていない項目について保健指導を行います。ご家庭でのご協力をお願いします。

9 体調が悪いときは無理をさせません。

→ 保健室来室時、インフルエンザ流行時の対応と同様、発熱の有無にかかわらず、早めの休養や早退の判断をさせていただきます。その後は、症状がなくなるまで欠席し、自宅療養をお願いします。



○ 毎日の検温・健康観察により発熱や風邪症状(発熱・鼻水・咳・倦怠感)がある場合は、欠席させてください。また、判断に迷う場合や不安がある場合は学校にご相談ください。

★ ①息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合②重症化しやすい方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合③①②以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合(症状が4日以上続く場合は必ず相談する)④「新型コロナウイルス感染者」に濃厚接触した。

上記の症状や疑いがある場合は、すぐに「新型コロナウイルス感染症健康相談センター」へ連絡をし、指示を仰いでください。

★ 新型コロナウイルス感染症健康相談センター(24時間対応)

電話：0985-78-5670

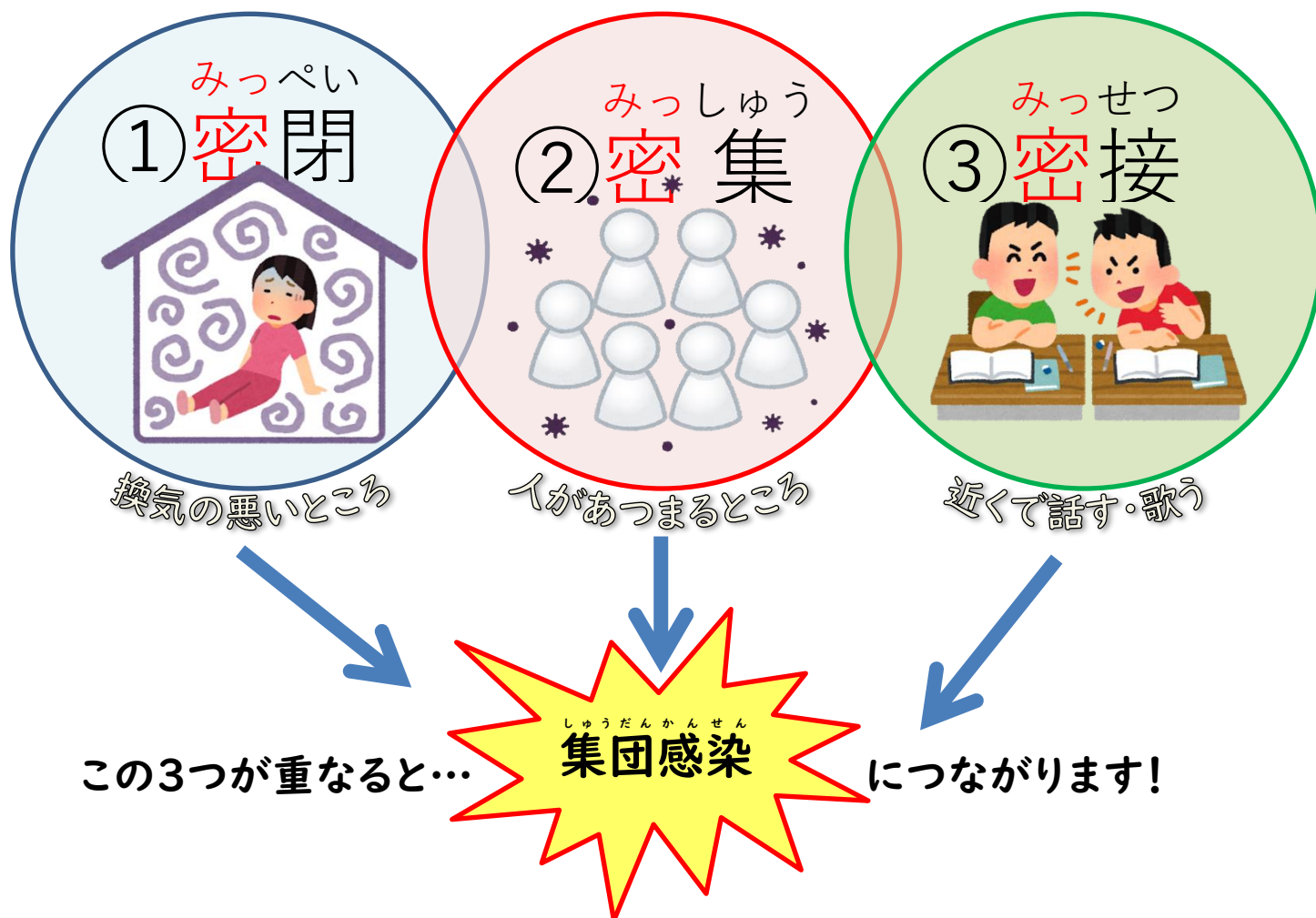
コロナゼロ

これまでの「帰国者・接触者相談センター」と同様です。県内どこからでも同じ番号でかけられます。

□ 直接医療機関を受診せず、まずは相談センターへ連絡してください。

- 小児については、小児科医による診察が望ましく、新型コロナウイルス感染症健康相談センターやかかりつけ小児医療機関に電話などで御相談ください。
- 基礎疾患等があり、不安な場合は、かかりつけ医にご相談ください。
- 新型コロナウイルス感染症の他にもインフルエンザや感染性胃腸炎などの感染症も考えられます。発熱等症状がある場合は無理をせず、自宅で安静にするか、かかりつけ医に相談の上、適切に受診をしてください。
- 感染が確認された場合には、保健所が濃厚接触者の特定等、必要な調査を行うことになります。なお、学校内の児童生徒等の中に濃厚接触者が特定された場合には、感染者と最後に濃厚接触をした日から起算して2週間の「出席停止」の措置をとります。
- ★印の力所は4月18日発行の「ほけんだより4月臨時号」の情報を新しく更新しています。

感染症対策のポイントは、「感染源を絶つこと」「感染経路を絶つこと」「抵抗力を高めること」です。それに加えて、3密（①密閉空間・②密集空間・③密接空間）を避けるよう対応します。



上記については、ご家庭や保護者の皆様の職場でも引き続き徹底して対応して下さるようよろしくお願いします。